



2022 年 10 月 15 日 (土)

日本百名山
大菩薩嶺 (2,057m)

『日本百名山』にも数えられ、甲府盆地の北東に位置し、山梨・東京・埼玉とつながる秩父多摩甲斐国立公園の一部でもある大菩薩嶺。大菩薩嶺を巡るコースは、バラエティ豊かで、特に新緑や紅葉の季節と何度登っても飽きることがない。カラマツ林や苔の森、岩場、山野草の群生など、山道では歩みを進めるごとに景色の変化を楽しめます。

【開催日】 2022 年 10 月 15 日 (土)

【開催地】 山梨県

【ガイド】 小坂橋 結子 (公益社団法人 山岳ガイド協会認定 登山ガイド)

【集合解散】 上日川峠

【日 程】 上日川峠10:35→福ちゃん荘→大菩薩嶺→雷岩→福ちゃん荘→上日川峠15:30

< 歩行時間：3時間45分／7.2km >

【参加費】 8,000 円 当日現金にてお願いします。

└ 金額の中に含むもの：ガイド料、協力金

└ 金額の中に含まないもの：集合場所までの交通費、食事代、保険代)

参加者のご都合により参加を取り消される場合は、下記のキャンセル料がかかります。

出発の1週間前まで・キャンセル料は発生しません。 出発の2日前まで・ガイド料の30%

出発の前日まで・ガイド料の50% 日不参加の場合・ガイド料の100%

【レベル】 初級

【定 員】 10名 (最小催行 6 名) 定員になり次第締切 (先着順)

【締 切】 10/8 (土)

【申 込】 ガイドの LINEID ([bluepoppy618](#)) へ直接お申込みください。申込後グループ LINE へ招待します。

「氏名、生年月日、年齢、性別、TEL、住所、緊急連絡先 (氏名 (関係、TEL))」をお知らせください

【その他】 天候、コンディションが悪い場合で、目的の山行が不可能な場合、代替コースをご提案、中止する場合があります。

参加の1週間前から検温等体調管理をお願いします。体調がすぐれない場合は参加をご控えください。



★保険（救済者費用、損害賠償等）は各自でご加入をお願いします。例↓

1 DAYレジャー保険（三井住友海上）
<https://ehokenstore.com/1dayleisure>
 セブンイレブンで入る保険

やまきふの山岳保険制度 < 短期タイプ >
<https://www.yamakifu.or.jp/course/member?type=onetime>
 クレジット決済

| ハイキング軽登山向け | プレミアム | ベーシック |
|------------|-------|-------|
| 傷害死亡保険金 | 250万円 | 200万円 |
| 傷害入院時一時保険金 | 15万円 | 10万円 |
| 骨折時一時保険金 | 10万円 | 7万円 |
| 日常生活賠償保険金 | 3億円 | 1億円 |
| 救済者費用等保険金 | 450万円 | 300万円 |
| 保険料（1名・1日） | 700円 | 500円 |

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 傷害死亡 | 500,000円 |
| 後遺障害(1~14級) | 500,000円~20,000円 |
| 傷害入院 | 2,000円(日額) |
| 傷害手術(入院時) | 20,000円 |
| 傷害手術(外来時) | 10,000円 |
| 賠償責任 | 1億円(示談交渉サービス付) |
| 救済者費用 | 100万円 |
| 保険料(1名・1日) | 日帰り660円/1泊2日990円 3泊4日まで1600円 |

<参考サイト>

路線バス（栄和交通）：<http://eiwa-kotsu.jp/root.html>

気象庁：<http://www.jma.go.jp/jp/yoho/>

天気予報（天気とくらす）：<https://tenkura.n-kishou.co.jp/tk/kanko/kad.html?code=19150010&type=15&ba=kk>

【上日川峠へのアクセス】

■車の場合（駐車場：北緯 35 度 43 分 54 秒 東経 138 度 49 分 56 秒）

中央高速「勝沼 I C」-(甲州街道)-景德院入口-(県道)-ペンションすずらん先ゲート-駐車場

中央高速「勝沼 I C」-(塩山バイパス・青梅街道)-大菩薩峠登山口バス停-(県道)-駐車場

■電車・バスの場合

JR 中央本線甲斐大和駅 9:50 発（運賃 1020 円各自）⇒上日川峠 10:31

上日川峠⇒15:45 発乗車（運賃 1020 円各自）⇒甲斐大和駅 16:30 頃着

【持ち物一例】

◎ は必ずそろえてほしいもの。△はあると便利なもの。

| | | |
|----------|---------------------------------|---|
| 登山靴 | 足首まで保護する、ゴアテックス製か同等機能のもの | ◎ |
| ザック | 日帰りなら35リットル程度、宿泊1泊なら45リットル程度 | ◎ |
| 雨具 | 上下セパレートタイプ ゴアテックス製か同等機能のもの | ◎ |
| ヘッドランプ | 予備電池、電球も含め必携 | ◎ |
| 地図 | 登山地図、ガイドブックのコピーなど | ◎ |
| ズボン（タイツ） | 伸縮性、速乾素材のもの | ◎ |
| シャツ（長袖） | 伸縮性、速乾素材のもの | ◎ |
| 靴下 | 伸縮性、速乾素材のもの | ◎ |
| 下着 | 伸縮性、速乾素材のもの | ◎ |
| 帽子 | 速乾素材のもの | ◎ |
| 手袋 | トレッキング用（あればレイン用のものも） | ◎ |
| 防寒着 | フリース、ウィンドブレイカーなど。夏でも山は寒い時があります。 | ◎ |
| スパッツ | 靴への雨、小石の侵入防止に便利 | △ |
| ザックカバー | ザックへの雨の侵入、汚れ防止 | △ |
| ストック | バランスの保持 | △ |
| サングラス | 紫外線等から目を守る | △ |
| 食料 | おにぎり、パンなど。 | ◎ |
| 水筒 | 最低1.5リットル以上(山行による) スポーツドリンク、水 | ◎ |
| 行動食 | チョコ、飴、ナッツ、果物など簡素で食べやすいもの | ◎ |
| 救急品 | キズ薬、湿布などの常備薬 | ◎ |
| その他 | 保険証、タオル、トイレトペーパー、携帯電話、ビニール袋、笛 | ◎ |
| その他 | 除菌シート、マスクなどコロナ対策グッズ | ◎ |
| その他 | カメラなど個人で必要なもの | △ |